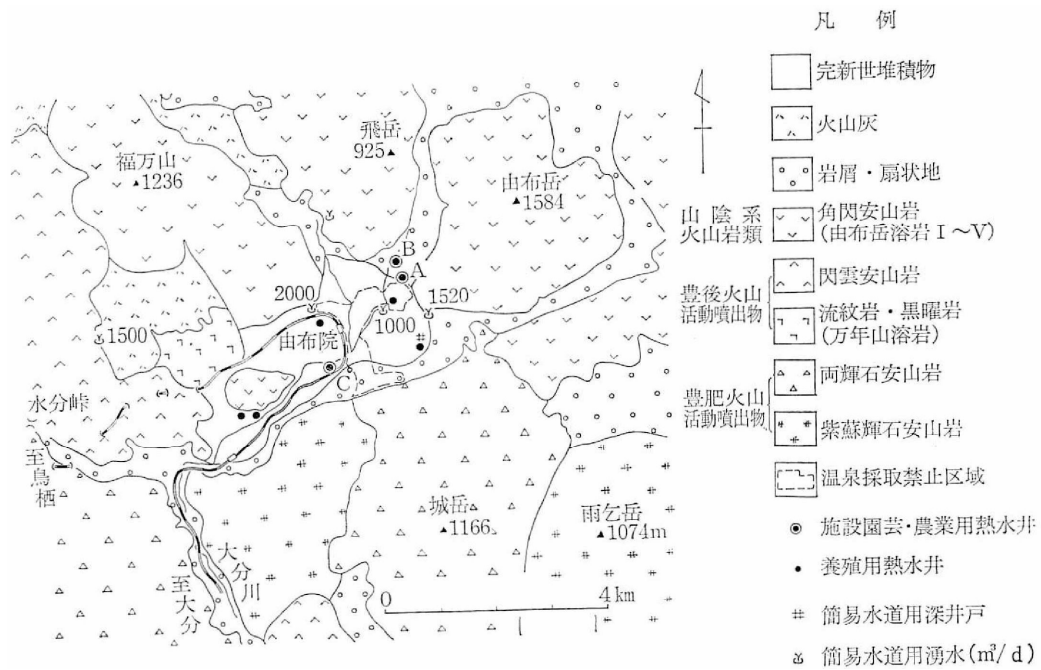


地形・地質

湯布院盆地は大分川の最上流部にあり、盆地の平坦面は標高 460～500m で面積は約 8km² です。火山体に取り囲まれた盆地内には、火山性扇状地と沖積地が形成され、由布院温泉やその周辺部には地熱地帯が連なっています。

地下水

湯布院盆地では水田や飲料水に、火山山麓からの湧水を活用しています。この地域は地表水や湧水に恵まれているため、井戸による取水は少ないです。湯布院盆地の南西端部を除く平坦部全域に熱水が賦存し、風呂や農業に利用しています。



湯布院盆地地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）